

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-4-20-102

TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

2013年7月号《No.1》

今月の聖句

狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし命に通じる門はなんと狭くその道も細いことか。それを見出す者は少ない。

マタイによる福音書7章13節—14節

主題

国際会長	Poul V. Thomsen	「全ての世界に出て行こう」
アジア地区会長	岡野 泰和	「未来を始めよう、今すぐに」
東日本区理事	渡辺 喜代美	「いざ立て」
あずさ部長	藤江 紀美子	「心を一つに あずさ部号前進」
武蔵野多摩会長	伊佐 節子	「健康第一！ちょっとだけ無理して頑張ろう！」

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. s e 視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさたろう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

6月の出席率

在籍者11名 出席者10名 メネット1名 メイキャップ5名 ゲスト1名 出席率 100%

会長就任雑感

伊佐 節子

5月に山口直樹会長の下、クラブ設立30周年記念例会を恵比寿ガーデンプレイスで迎えたばかりと思っているうちに年度の切り替えの7月を迎えた。

しゅしゅ引き受けた会長職といったらテンションの下がる出だしになるが、事実であることに間違いはない。

大きな記念行事、各例会の進行で大活躍の山口会長の後を引き継ぐことになって気が重いことだが、大きな課題がクリアーされているので、気楽にこうと考えている。

我がクラブの最近の傾向は、健康を害している人が続出していること、自分を含めて高齢者が増えていることである。

従って、気は若い、無理が効かないことを考えて行動することを旨としたい。

会長の主題は

「健康第一！ちょっとだけ無理して頑張ろう！」としました。

皆さんのご協力あつてのクラブ運営です。

自分に出来ることを誠意をもって行うことを念頭に、1年間頑張りたいと思います。

6月例会のようす

日 時 6月12日(水曜) 19時 場 所 西東京センター

司 会・聖書・祈祷 井口ワイズ 受付 山本・野尻ワイズ

卓 話 公益社団法人電話相談事業開発研究委員会 コーディネーター 恩田 興一氏

「真の対話が希薄化する世界に生きる」

—高齢者のための夜間安心電話相談実践から学んでいること—

福祉の世界で宗教性を出すことはとても難しいのですがそこをきちっと抑えねば本質が分からなくなります。愚者の私はW I S E (賢者)にお話する様な事はあま持ち合わせていないのですが、共通の祈りの場に天からの智が流れて来その場に新しい発見があります。とY sとW I S Eをかけたうえにもう一ひねりのジョークから始まり、被災地のこと、今も迷い、絶望、自死している人がいます、そのことに同じ思いの祈りの場から始まった。

私は朝トイレに籠って新聞を読む習性があります。今朝も今日のお話に関連する記事が三つも出ていました。

老い行く巨大都市2030年には独居90万人と多摩ニュータウンの孤独死問題。

「息子に失恋」あなたは？ と親離れ子離れ。

そして、谷川俊太郎さんの「こころ」をテーマに震災地にこころを合わせた詩。「何もかも失って／言葉まで失ったが／言葉は壊れなかった／流されなかった／ひとりひとりの心の底で」です。

私の心の底に俊太郎さんの古い詩、ひるには青空が嘘をつく／よるが本当のことを呟くあいだ、私たちは眠っている／あさになるとみんなは夢を見たという／ があります。

高齢者電話相談が現在の姿に成ったのは平成9年都が設置した「見守りのネットワークに関する検討委員会」の人は1人では生きてゆけない・・・「望まない孤立」に陥ることなく安心して心豊か暮らして行ける・・・とあり1人暮らしの高齢者のための「夜間安心電話」多様な相談に対応し不安を和らげることを目的に実施されました。実際の活動は平成10年に始まり都から離れたり国から援助を受けたり紆余曲折し都からの委託から現在は完全なボランティア活動と成り色々な意味で非常に厳しい状況で活動しています。

現在は、地域、年齢を問わず19時30分から22時30分年中無休で開設しており子供や国内は勿論海外在住の方からの電話もかかってきます。

スタート時相談者数年間は2000人台から現在3500人台まで毎年増え続けており、初めのころはほとんど女性でしたがある時期から40代以上の男性が非常に増えて来ました。現在分析中ですが周辺地域と言われる地域より人口密集地域の方が多く付き合いや対話の希薄化を感じております。

相談の主題は本人のメンタリティー、状況からの脱出方向、希望が見えず心の彷徨が56%を越しています。(経済的健康的なことは包括支援センター民生委員があります)

私たち福祉会の特質に対話型というのがあります。「私はこうしたらうまく行ったから、そうしなさい」等安易な事は絶対してはなりません、それは自己開示に成り泥沼に成り絶対失敗します。(その為にはしっかりした哲学が必要だ！(恩田氏の口から次々に飛び出て来る。我と汝の関係 マルチンブーバー、マックスピガードの沈黙は人間の根本構造、AAの無力、無名性、交わり、その重要性・・・・・・大学の聴講生の様な気分)

恩田氏の現場での姿が見えてきた、きっと永い沈黙があるに違いない！

そしてはたと気付いた、恩田氏はその先を見据えている！

それは冒頭の「共通の祈りの場に天から智が流れてきてその場に新しい発見があります」

第3回大槌町仮設住宅訪問

前半二日は仮設住宅訪問、後半二日は東日本区大会参加で、今回嬉しい助っ人、金沢犀川クラブ平ロワイズ(金沢大学教授)それに八王子クラブ茂木会長の参加がありました。我々は石丸隊長以下ヴァイオリンの石塚先生、山口会長、伊佐次期会長、と松田でした。毎回の助っ人、もりおかクラブは東日本区大会ホストクラブの上大会直前・・・・。

レンタカーを隊長自らの運転、おにぎりの立ち食いで、第一目的地、安度第二住宅に直行。何かいつもと違い空気がいやに柔らかいです、何とそれは新しい命、6ヶ月の赤ちゃんです。混乱と殺伐とした中に生まれた赤ん坊が皆を和やかにしていました。そこに診療を終えた赤ひげ先生登場！平口先生の教え子第1号、大槌でこの植田赤ひげ先生を知らない者は無い、先生の名を聞くと皆につこりしてしまいます。

大惨事の時、水門の傍の先生の病院はいち早く患者さんを全員避難させ、先生は屋上からへりに釣り上げられ着地点で即診療開始の凄さ。いち早く駆けつけた長崎医大の医師団の協力を得ての大奮闘。現在は海外の救援団体から贈られた仮設住宅改造の医院を朝6時から夕方5時まで開院。

そこにお邪魔して、素人が咄嗟に撮ったなまのビデオを見せていただき時を新たにしました。次の日の、二か所の避難所での活動も先生の名前を出すだけで実にスムーズに運びました。おまけに先生に開禁二日目の二倍盛りのウニ井の御馳走になり、おれた燈台も復旧された「ひょっこりひょうたん島」を見て盛岡東日本区大会に向かいました。今回の仮設住宅訪問も感動体験でした。感謝。

前会長の雑感

山口直樹

最後の2か月は、何が何だかわからないまま突っ走った感の時間であった。5月25日に東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ30周年記念例会を開催。続いて、3回目の岩手県大槌町訪問、引き続きの花巻での東日本区大会参加。今は反省することは多々あるが、ちょっとほっとした気分浸っているところである。

今年度は「YMCA とともに、地域に生きる」を主題に活動をした。どこまでできたか、たぶん全くできていないとの評価が当たっているかと思うのであるが、とにかくやったというのが、感想である。

☆西東京センターとの活動は

・9月のリーダー懇親会、ファミリーフェスティバルに参加、クリスマス会でのトーンチャイム演奏とかかわり、リーダーたちの顔も大分わかり距離が近くなった感がある。特にトーンチャイム演奏は30周年記念例会でも披露し、大満足、自己満足!!

☆地域とのかかわり

・くにたちさくらフェスティバル参加

「国立さくらフェスティバル」にブース参加。西東京センターのリーダーを中心に子供遊びコーナーを設置し、200人弱の子どもたちが参加。目を輝かせて集中してペンダント作りに没頭している子供たちに感動。西東京 YMCA と一緒に活動できたことに感謝。

東日本大震災被災地訪問

今年度は、岩手県大槌町の仮設団地を訪問。11月、12月、6月の3回訪問。それぞれ3ヶ所から6ヶ所の仮設団地を訪問し、歌やゲームで楽しい時間を過ごした。訪問した我々が楽しい時間を過ごさせてもらい、逆に元気づけられた感があった。今後も継続していきたい。また、必ず他クラブのメンバー参加があり感謝。特に盛岡クラブには大変大きなサポートをしていただいた。6月には金沢犀川クラブのワイズメンともつながり、大槌の方ともより一層つながりを意識することとなった。改めてワイズに感謝。

☆原村例会 20年目を迎えた原村例会。松本クラブとの合同例会として今年も楽しんだ。

また、例会のゲストスピーチで「生きる」ことを中心に、多くの方からスピーチをいただき、学びの時間を持った。内容は次の通り。

リハビリ、高齢者福祉、障害者とともに生きる、宇宙医学、学校でのソーシャルワーク、ワイズ活動の素晴らしさ、夜間電話安心相談。様々な視点から「生きる」ことを学んだ例会を持てたと思う。

最後に少人数ながら、ほぼ全員参加の形で様々な活動ができたこと、無事に30周年記念会を開催できたことは、大きな喜びとなった。感謝の1年間であった。

また、一番の反省は会員増強ができなかったこと。これからも伊佐会長を支えながらがんばっていきたいと思う。

以上取り留めもなく書きましたが、メンバーに感謝の一年間でありました。ありがとうございました。

なお、30周年記念例会の山田公平さんの講演録音をご希望の方にお送りします。2GB程度のSDカードをお送りいただければ録音し返送いたします。山口までご連絡ください。

<西東京 YMCA 便り>

鳩山 徹郎

7月に入り、いよいよ本格的にサマープログラムの準備が始まってきました。西東京センターだけで、知的障がい児・者や発達障がい児のためのキャンプ、日帰りプログラムなど、全部で12個のプログラムが実施され、概ね400人ほどの参加者、延べ180人のボランティアリーダーが関わる夏がやってきます。どんな夏になるのか、楽しみです。

6月から7月は、そのサマープログラムに向けて様々な準備をする2ヶ月です。西東京センターには毎日のようにボランティアリーダーたちが集まり、キャンプに向けたミーティングや座学トレーニングが行われています。週末には宿泊の実技トレーニングが、今年も山中湖センター、野尻キャンプ場、赤城キャンプ場で行われました。その一つひとつは、キャンプを成功させるために必要な内容であるだけでなく、リーダーたちが更にステップアップし成長するための内容であると思っています。「キャンプに行くために必要だから参加しなさい」ではなく、「自分たちを高めるために、自分たちが自信を持って子どもたちの前に立つために、子どもたちの豊かな成長のために、精一杯やりなさい」と伝えていきたいものです。ひと夏で、子どもたちも大きく変化しますが、負けず劣らずリーダーたちも大きく変化します。子どもたちの様々な表情に出会えることも嬉しいことですが、若者たちの成長に携われることは、この上ない喜びであります。

多くの準備をしていますが、事故が起こることがあります。神様に導かれながら、皆様のお祈りと合わせて、最大限の注意をしながら準備してまいります。引き続き、お支えをいただけますよう、よろしく願いいたします。

<西東京センター及び東京 YMCA の主な予定>

7/2	座学リーダートレーニング (キャンプの安全)
7/6	山中ビレッジトーテムキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
7/7	軽度発達障がい児 野外活動「Smile」7月例会 幼児野外活動「にこにこ」7月例会 小学生野外活動「ロビンソン」7月例会
7/13	道志グリーンキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会) 赤城ワイルドフラワーキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
7/14	知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」7月例会 知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いずみの会」7月例会
7/15	野尻ユースキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
7/20-22	山中ビレッジトーテムキャンプ(引率：村山)
7/21	戸隠ネイチャーアドベンチャーキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会) あおぞら・つばさキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
7/27	シャベルズ・かめのこキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会) 妙高やまのこキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
7/27-29	わんぱくキッズ (引率：篠寄、中元)

東京武蔵野多摩クラブ 2013年6月第2例会

2013年6月26日 18:30~20:30 於西東京センター

出席者：伊佐、石丸、清水、松田、山口、宮内

1. 休会者

井口さんの休会届け提出、6月24日の常任役員会にて承認された。

2. 30周年記念例会会計報告

山口会長より別紙の通り中間報告があった。僅かであるが、黒字の見込み。

3. 7月例会

キックオフ例会となる、会長引き継ぎ式を行う。(司式 宮内)

会長所信表明の後、各メンバー3分間スピーチ。

4. 原村例会

7/27-28 8月第1例会する。出席者；伊佐、野尻、清水、松田、山口、小坂、藤江（東京タンポポ、部長公式訪問）、小口（東京八王子）当日は、大学通りスターバックス前を車で8:00スター

5. 今後のスケジュール

7月10日 7月第1例会

7月13日 第1回あずさ部評議会

7月24日 7月第2例会

7月27-28日 原村例会（8月第1例会）

8月28日 8月第2例会

9月11日 9月第1例会（ユースリーダー懇親会）

6. 7月第一例会 司会 山口 聖書・祈り 伊佐 受付 松田の各ワイズ

7、バースデイ 石丸メン、太田メン・メネット、笠利メネット、清水メネット、松田メン・メネット、竹中メネット。